

## 天皇皇后両陛下並びに皇太子同妃両殿下

## 御奉迎及び御奉送

巖  
神  
青

去る七月四日、五日両日に天皇皇后両陛下の御奉迎に際し、岩手県神道青年会における国旗小旗の頒布活動を行った。

四日の御奉迎に際しては、新花巻駅前、花巻市東和総合支所前で合計六〇〇本の小旗を頒布。吉田会長以下十名の会員並びに神職、総代の皆様の御協力をいただき、無事御奉迎をさせて頂くことができました。

五日は、陸前高田市役所前、一関駅前で合計七三〇本の小旗を頒布。吉田会長以下八名の会員並びに神職、総代の皆様の御協力をいただき、無事御奉迎をさせて頂くことができました。

また、十一月一日、二日両日には皇太子同妃両殿下の御奉迎に際し、国旗小旗の頒布活動を行った。一日の御奉

迎に際しては、盛岡駅、盛岡市役所を中心に約二〇〇〇本の小旗を頒布。吉田会長以下十二名の会員並びに神社庁盛岡市支部神職、総代の皆様とともに、無事御奉迎することができた。

二日には遠野市、釜石市にて小旗の頒布。こちらでも皆様の御協力をいただき約一七〇〇本を頒布。又盛岡駅での御奉送に際しては、四〇〇本頒布し、無事御奉送させて頂いた。

この度の、天皇皇后両陛下並びに皇太子同妃両殿下の御奉迎、御奉送活動に際して、岩手県神社庁様の御協力のお陰をもちまして、岩手県神道青年会と致しましても、会員総勢四十名にて国旗小旗約五四〇〇本の頒布活動を行う事が出来ました事感謝申し上げます。

## 全国神道青年協議会 東日本大震災復興支援活動

去る十月二十三日、釜石市、大槌町、山田町の被災仮設住宅において全国神青協の復興活動が行われた。震災から二年半。復興の道程は未だ進まず、仮設住宅においてもその使用期限が延長される等、

地域の再生には更なる時間が必要とされる事が予想されている。また、心の復興には宗教的な情操も必要であるが、新興宗教等の問題もあり、私達も手を差し伸べづらく、仮設住宅に住む人々は心の拠り所を失いつつあるのが現状である。

その中で、以前当会において釜石市鶴住居地区において行った大麻頒布啓発ポスティング活動が、仮設住宅に住む方々から非常に喜ばれ

ており、今回、全国神青協に依頼をし、更に範囲を広げ、上閉伊支部、宮古市下閉伊郡支部様の御協力を得て、三地区に分かれ約三五〇〇戸の仮設住宅に啓発チラシを頒布出来る事となった。

当日は十月末の寒さ厳しい中、全国神青協南坊城会長を始め、役員、会員総勢四〇名が活動に当たり、無事全ての仮設住宅に頒布することが出来た。活動に当たって、氏神社宮司様と地域の方々の繋がりの強さに誰しもが感銘を受け、お住まいの方々にも温かくお迎え頂き、この活動をこれからも継続的に行わなければならぬと実感していた。また、直接震災当時のお話も聞く事も

でき、当時と現在の思いを改めて伺う貴重な機会となった。

今回の活動は神社と氏子地域の絆を更に強く結ぶ活動でもある。心の拠り所としての神社が忘れられる事なく、いつも地域に寄り添い歩んでいる事を周知し、そして一日も早く氏神社を中心に被災地域が賑わいと活気を取り戻すよう祈りながら、今後も青年会一丸となって変わらぬ活動を続けていきたい。



各社参拝の後、活動を開始

## 東北六県神道青年協議会 親睦事業

去る十月十七日、山形県東田川郡庄内町のカートソレイユ最上川を会場に、今年度の東北六県神道青年協議会の親睦事業であるカートレースが行われた。

当日は天候にも恵まれ、東北六県から四十四名の青年

神職が集結しカートレースが行われた。当県からも、勝田副会長以下会員五名が参加した。

開会式では、鬼海六県会長、日下全国副会長、豊嶋山形県会長の挨拶のあと各単位の会長、または代表者が選手宣誓を行った。

開会式終了後、レースの説明を受け練習走行の後、本番が行われた。人数の足りない当県は、山形県から鎌倉六

県事務局長の手伝いをいただいた。

コースは全長約一キロの本格的なものになっており、本番ではコーナーでの競り合いがあるなど、白熱したレースになったが、三位と僅差で当県は四位となった。

閉会式では、一位の山形県、二位の青森県、三位の宮城県、四位の代表者が表彰台に立ち、参加者全員でシャンパンファイトならぬ炭酸水ファイトで勝利を祝い、交流を深めた。



## 盛岡少年刑務所・盛岡少年院 収穫感謝祭奉仕活動

去る十月二十六日盛岡少年刑務所に於いて、伊藤副会長以下会員四名が、収穫感謝祭を奉仕した。また、十一月二十日には、盛岡少年院に於いて、伊藤副会長以下六名が、収穫感謝祭を奉仕した。

両日共に、一條善人教誨師様にご出席を頂き、教誨師講話の後に祭儀が執行され、受刑者及び職員約四十名が参加した。

祭儀にあたり、受刑者によって収穫・奉献された野菜が三方二台に盛り付けられ、献饌の際、受刑者代表二名と祭員による伝供にて神前に供えられた。

限られた環境の中、早期の社会復帰を目指し真摯な態度で日々過ごしている少年

達の姿に心打たれ、自身も一人の社会人として身を引き締めて勤めを果たしていきたい。といった感想も寄せられ、貴重な機会に各自にも収穫のあった一日となったようである。

本年は両日共に肌寒い天候の中での奉仕となったが、多忙の中奉仕頂いた会員各位の協力により無事祭儀を終えられたことに、心から感謝を申し上げたい。



遷宮祭臨時出仕奉仕

去る十一月一日、二日両日、当会吉田会長が神社庁からの推薦の下、神宮（内宮）で齋行された遷宮祭に臨時出仕として奉仕した。

一日には御装束神宝をはじめ、祭主以下遷御の儀奉仕員を祓い清める川原大祓に唐櫃所役として奉仕し、二日にはいよいよ遷宮祭が齋行された。遷宮祭では、正宮内玉垣南御門の庭燎奉仕を任せられた。祭儀は浄暗の中、厳かに肅々と齋行された。



祝ご結婚  
大手 利恵子 会員  
賢一 夫君

菅原政憲副会長  
菅原史穂子地区委員  
祝御結婚

去る十月二十日、本会菅原政憲副会長、菅原史穂子地区委員の結婚披露宴がホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで盛大に行われその後、青年会が主体となり盛岡市内サンダンスにて二次会が行われた。

吉田会長の乾杯の発声の後、場は大いに盛り上がりつつある中、新郎新婦が入場し、和やかな雰囲気の下、お祝いのケーキや花束の贈呈、ビンゴ大会などが行われた。お二人の門出を心から祝福申し上げます。

恒例の忘年会開催

去る十一月二十七日、恒例となつている忘年会が盛岡市繫、ホテル紫苑において開催された。

本年は藤原庁長、坂本副庁長をお迎えし、会員二十六名参加のもと、宴は一次会、二次会、三次会と日が変わるまで続き、一層の懇親を深める機会となった。



編集後記

● 編集後記  
会員の皆様に謹んで新春の御祝詞を申し上げます。旧年中は色々とお厚誼を頂き有難うございました。

去年は青年会員の御結婚が多かつた一年でした。また、会員の多くがその幸せな時間を共有できた一年だった様に思い出されます。

本年も皆様の益々のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

最後に、広報委員会へのご指導ご鞭撻の程お願い申し上げますと共に、引き続き会報の充実に取り組んで参りますのでご協力お願い申し上げます。

発行 岩手県神道青年会  
住所 盛岡市八幡町十三番一号 盛岡八幡宮社務所内  
電話 〇一九・六五二・五二二一  
FAX 〇一九・六五二・五二二一